

●京都商工会議所への竹笹の提供(10か所)終了する 6月26日から始まった京の七夕への竹笹の提供は、最終新京極商店街への8月7日の提供で無事に終了できました。昨年より倍増した商店街への納品になりました。笹の長さ2.5mのものといった希望があります。皆さんは竹と笹の区別がなく何でも笹であったり竹であったりということなので、意をくんで用意することになります。そして暑さが続くと笹の葉が乾燥して縮んでしまいますので、元気がなくなる前に納品するようにしています。納品には、出来るだけ朝に採取して元気なものを届けられたらと気を使っています。ここ数回の取組、数年になりますので、梱包方法にもコツが分ってきて、かなりコンパクトにまとめることにも腕が上がりました。うけとりをしていただくみなさんからは、きれいな良い品物ですねと評価をいただいています。喜ばれると一番うれしいですね。

●5月26日から始まった親子で遊ぼう学ぼう魚とり 9回シリーズ (増水・濁水で2回中止)は残すところ18日の京都府子どもの水辺のみとなりました。今年の魚とりの参加申し込み者数は448人 中止を含む欠席者数180人 参加者数268人となりました。特に相楽郡からの参加申し込み者は7月25日段階で50組を超えて150人規模になり、受付時でお断りしなくてはなりませんでした。予定を超える大規模になりましたので、対応に頭を悩ませました。ライフジャケットが子ども用は60人分で、大人用は30人分が限度だったからです。折角応募されて楽しみな夏休みのイベントを心待ちにされている児童の心の内を推し量ると、断り切れず何とかなると必死に準備を整えました。昨年に比べてスタッフを引き受けてくれるボランティアにもかなり限界があって、安全対応に随分と気を使いました。また昨年並みの猛暑から熱中症対策とその予防には随分と神経を遣いました。暑さは6月から7月は普段通りで、あまり高温になり切らず、準備が容易になるようでした。しかし梅雨が明けると待っていましたとばかりに日本近海で低気圧が台風に発達するなど想定外の出来事も続きました。いったんダムからの放水が始まると濁り水となり、増水と合わせて、足元が確認できなくなります。それが間髪を開けずに繰り返されると大変です。ダムが無ければ一時の大水が出てしまうと簡単に濁り水が流れ去りきれいなもとの水になります。ダムに溜まった水の放水が規定水位まで続きますので小学生や幼児には近寄れなくなります。今年も2回中止と判断しました。

こうした自然相手の取組は現地に出かなければわかりませんので、事項可否の問い合わせが続きますのでこの対応もなかなかたいへんです。特に専従職員がいない事務所体制なので、携帯電話が鳴り続けます。昼御飯時と夕方の時間は対応に追われます。裏方の準備をすすめながら人手のお願いなどをしなければなりませんので、気が休まりません。こうして当日を迎えることになります。現地準備では特に安全対策を含めた草刈りが大仕事になります。よく問い合わせられるのが駐車場の確保です、これも大仕事になります。かなり広い除草刈取り範囲が必要ですから暑い日中の作業ですからくたくたになります。

当日が何ごともなく無事時に終わるとほっと一息つく間もなく、すぐ翌日の段取りライフジャケットの乾燥確認や数を確認して返納に当たらなければなりません。

●子どもたちが書いてくれた感想文を掲載いたします。素直な喜びがいっぱいあります。ご覧ください

親子で遊ぼう学ぼう魚とり 8月3日 感想文

●めだかがとれて たのしかった。●魚をつかまえて たのしかった●小さい魚一杯取れてうれしかったです、●予想していたよりも多種の魚が沢山救えてびっくりした。タウナギを救った瞬間が見られてよかった。小3の娘も自分で救うことが出来て喜んでいます。●大変川流れが楽しかった：●ボクガドンコをつかまえてすごく大きくてくちをあけていました。いつかもっとオオキイサカナをつかまえたいです。●かわながれがたのしかった。●きょうはすじしまえびや めだかをとって なまずがすごいなおもった。かわながれがたのしかった。

●スゴクいろんなしゅるいがいておもしろかったです。いっぱいとれました●今日は貴重なタイケン

を本当にありがとうございました。色々な魚が身近にいて実際に網ですくうことが出来て子どもたちが手で触れることが出来て、子どもたちも大興奮していました。ありがとうございました。行きにはご迷惑をおかけしまして、お忙しい中本当に申し訳ありませんでした。●えびが泳ぐのがすごく早くてびっくりした。おおきいさかながつかまえてすごうれしかったです。●もっとはいりかったです。●泳いだのがたのしかった 魚捕りが楽しかった。●川で流れたのがおもしろかった●とても楽しい体験ができました。水のながてな子どもも それなりに楽しめたたいけんでした●でっかいなまずを つかまえようとしたけど むつかしかったです。●いろいろなさかなのなまえをして、かわながれもして たのしかったです。●いちばんいんしょうに残ったのは川流れです。●川をながれるということはふつうは なかなかできない体験だったのでうれしかったです。魚とりもたのしかったので きょうはきょうな体験ができたと思います。●子どもが夢中で魚を取っていました。貴重な体験をさせていただいてありがとうございました。●楽しかった●とてもたのしかったです。前から楽しみにしていました。自分たちではなかなか体験できないことをできて良かったです。夏休みの思い出作りになりました。水気持ちよかったです 魚とりにまた行こうと思います。スタッフの方お疲れさまでした。●いろいろな魚がかわにいて たのしかったです。なまずの大きさがすごかった。●いっぱいとれました 来年も期待です。

親子で遊ぼう学ぼう魚とり 8月4日 感想文

●沢山木津川のことや魚のことが知れてよかったです。 またやってみたいです。
●たのしかったです。●いろんなあそびやさかなとりとか あそびが たのしかったです。●いっぱいさかながとれて とっても うれしかったです。来年も行きたいと思った。●とてもたのしかった・とくにさかなとりが たのしかったです。らいねんもしてください。●たのしかったです。●たのしかったです。●私ははじめて魚をつかまえました。魚をつかまえるのはむつかしかったです。つかまえるコツが分ってうれしかったです。そしてたのしかったです。らいねんはレアをとりたいです。●もっとしたい。もっとさかなをつかめたい
●もっとたくさん魚とりたい。たくさんあそびたい。うくのがたのしい。うくれんしゅうや、さかなとりがすごたのしかったです。●こんどはつりがしたい。●いっぱい取れて良かったです。魚のなまえもわかってよかったです。つぎはもっとおおきいのをいっぱいとりたいです、ありがとうございました。
●今日はじめて木津川で魚をつかめたけどあまりとれなくてざんねんだった。だけどさいごのかわながれがおもしろかったです。●もうちょっといっぱいつりたかった●すごたのしかったです。かわでながれるのが きもちよかったです。●ぼくはかわや魚もいろんなやったことが できたからよかったです。●さかなをつかまえるのがたのしかった。来年は もうちょっと魚をつかめる時間を長くしてほしい。来年もしたい。●たのしかった。
●さかなをつかまえるのがたのしかった。●きょうはかわのことおしえてくれて たのしかったよ。ありがとう。ありがとう。ありがとうございます。さかなのことかわいっぱいしたよ。きんちょうしてたけど やればたのしかったよ。ありがとう。●たのしかったよ。●いままでしらなかったことがいっぱい学べてたのしかった。よかったです。かわながれがいちばんたのしかったです。これから川に流れてしまったら気をつけるようにしたいです。さかなとりではメダカ エビなど絵をとれました。きょういちにち たのしかったです。●たのしかった。もっとさかなをいっぱいつりたかった。いろんなさかなのことをしれてよかったです。また来たいです。●いろんな遊び(体験)がある 楽しかったです。次はいろんな川で魚 生き物を見つけたいです。●もっと魚とりをしたかったです。

【ツバメのねぐら入り観察会中止のお知らせ】

今年予定している8月10日のつばめのねぐら入り観察会は、一昨年昨年と2年続けて出席者が少なく今年は見合わせることになりました。異常気象の影響かとも考えますが、以前に比較してつばめの数が少なくなっているようです、熱心な観察者研究者のご意見を伺って、近い間に復活を検討します。期待されているみな様には。申し訳なく思います。